

令和7年度 第2回コンプライアンス委員会 議事録

1 開会・校長あいさつ

- (1) **現状認識** 教育界全体で不祥事が絶えない中、教職員の意識改革の難しさと継続的な取り組みの重要性を強調。
- (2) **処分の厳格化** 懲戒処分の指針が細分化・明確化されており、免職等の厳しい判断が下される現状について共有。

2 校内事案の報告(令和7年度)

- (1) **個人情報関連** 連絡帳の入れ間違い、カバンの持ち帰り間違い(すぐに回収・職員共有済み)。
- (2) **事故・指導上の不注意** 教員の交通事故(被害者側)、児童生徒の校内搜索。
- (3) **会計処理** 源泉徴収票の判定ミス(外部講師への日額・月額適用の齟齬)、学年会計における私的ポイント付与の不備(保護者徴収金で購入の際、教職員の個人ポイントを付けないルールの徹底)。
- (4) **ヒヤリハット** 絵の具の誤食(中毒110番へ確認)など。職員で共有し改善策を徹底する。

3 コミュニケーション活性化の取り組み

- (1) 「**モラルアップ大作戦**」 世代間や学部間(小・中・高)の壁を低くし、他愛のない会話から信頼関係を築くための企画を各学期末に実施。
- (2) **目的** 硬い話だけでなく、日常的な意思疎通がリスク管理やメンタルヘルス向上につながるとの考えから取り組んでいることを報告。

4 教職員の人権に関する取り組みについて

- (1) 「**人権感覚を磨く自己チェック表**」 毎月末に教職員が自身の言動(言葉遣いや服務等)を振り返る取り組みを継続している。
- (2) **委員からの意見**
 - ア 「内部監査的なチェック機能の強化も必要。」
 - イ 「規制や細分化が進みすぎると、教育の自由や人間の行動が過剰に縛られる懸念がある。」
 - ウ 「学校は今、些細なミスも許されない不寛容な社会環境にある。」

5 学校の安全・環境整備と今後の対策

- (1) **電話録音機能の検討** カスタマーハラスメント(保護者等からの過度な要求)への対応と教職員の保護を目的として、近隣校にならい録音・アナウンス機能の導入を検討。
- (2) **防災連携** 伊豆の国市との避難所協定に基づき、校内に防災倉庫を設置。
- (3) **設備新設** 小学部芝生広場に鉄棒を設置。

6 閉会

- ・ 外部委員からの助言を柔軟に取り入れ、信頼に応える学校づくりを継続することを確認し閉会した。